



足立入谷小だより

令和4年10月3日
足立区立足立入谷小学校
校長 田村正弘



持続は Small Change が鍵？

副校長 江幡 隆志



最近すっかりお馴染みになったSDGs。世間では環境を保護するためにがんばろうというように受けとめられることが多いようですが、考えてみればこれは「あなたが当然だと思っている日常は、何もしなければ持続しないのだ」とあらためて宣言されたということでもあります。真剣にその事実と向き合うと未来が不安になりますよね。なるほど未熟な私を振り返れば、決意を持続できずに己に落胆する毎日のいかに多いことか……。そして現状維持もままならなくなって……。それがこれからの子供たちの未来に影響を深く及ぼすとすればどうすればいいのか。

SDGsのSはSustainable(持続可能)を意味します。「ローマは一日にして成らず」「塵もつもれば山となる」「継続は力なり」など、持続の大切さを訴える格言、名言は数多くあります。それだけ多くの人間はこれまでにその重要性に気づき、身に染みてきたわけです。しかし、それでも私だけでなく多くの人間はなかなかそれができず、持続不可能になることもしばしばだったのではないのでしょうか。これは持続＝現状維持との誤解による問題なのかもしれません。

生物は進化の過程で別の種を生み出す場合以外は、色や体の一部などの変異によって種の存続を模索します。例には事欠きませんが、ケニアの雄ライオンは灼熱の環境への適応の為、たてがみがほとんどないと最近知りました。ことわざにも出てきた大ローマ帝国も太平の世といわれた江戸時代も、実は統治者は現状維持に腐心したのではなく、少しずつ改革を進め、時代や環境の変化に対応して危機を回避したのだと思います。技術大国と言われる日本の町工場や職人さんたちは、日々少しずつ加工技術を工夫して向上させたり、新たな機器を少しずつ取り入れたりして、次世代技術に対応しています。ベンチャー企業だけが技術革新を支えているわけではありません。

このように、Small Changeを常に意識した者たちが、結果的に持続を成し得てきたように思えてなりません。変化を拒めば革命や時代や環境につぶされていきます。かといって無理な変化を急激に推し進めれば、環境や民衆との大きな軋轢を生むでしょう。どちらもそれでは持続することにはつながらないのです。

高齢者層もスマホを使うようになりました。学校にもICTが導入され、学習形態も少しずつ変化が始まっています。なんでもデジタルで済ましてしまうと体験不足等の問題がおこります。かといってAIドリルなどの個別学習の支援を活かせなかったり、ソフトウェアの利用によるコミュニケーションを基にした探究や効率的作業ができなかったりしては、将来の社会生活に支障が出るでしょう。方丈記の「ゆく川の流れば絶えずして、しかも、もとの水にあらず」を踏まえ、Small Changeで人生と環境をSustainableに！！



10月の主な行事予定

日	曜	行	事	スマ	16	日		
1	土	都民の日・足立区民の日			17	月	全校朝会 避難訓練	
2	日				18	火	午前授業(4年以外) 学校で朝ごはん(135) OP	×
3	月	激励集会	スペシャルマンデー(4・5)		19	水	Bクラブ	
4	火	B	連合運動会	×	20	木	音楽朝会 大谷清運見学(4)	
5	水	日光自然教室事前健康相談(6)			21	金	脊柱側弯検診(5) 仲良し班活動	
6	木	児童集会	連合運動会予備日		22	土		
7	金	前期終業式		×	23	日		
8	土				24	月	全校朝会	
9	日				25	火	計算検定	
10	月	スポーツの日			26	水	B4 学校保健委員会 就学時健診	×
11	火	後期始業式	学校公開週間 安全指導・点検		27	木	午前授業(5年以外) 図書集会 研究授業(6)	×
12	水	B4	日光自然教室(6) 区小研	×	28	金	社会科見学(34)	
13	木				29	土		
14	金				30	日		
15	土	土曜授業	学校説明会 開かれた学校づくり協議会	×	31	月	全校朝会 教育実習始 プログラミング 出張授業(56)	

※()の中の数字や文字は対象学年を示します。×はスマイル未開催日 OPはオリピックの実施日 スクールカウンセラー配置日は水・金

足立区学力調査の結果をふりかえって

	学校全体		2年		3年		4年		5年		6年	
	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数
目標値(R4)			69.2	77.2	68.1	71.4	56.8	62.1	53.8	60.1	56.9	48.3
通過率(R4)	71.1	75.9	77.8	88.9	90.0	90.0	76.5	88.2	80.0	66.7	40.9	54.5
平均正答率(R4)	68.1	71.9	83.0	90.7	82.1	84.6	68.1	79.7	65.0	71.4	55.2	52.1

※通過率は区の設定目標値に到達した本校児童の割合を示しています。

上の表を見ていただくとおわかりのように、6年の通過率や平均正答率が低く、本校の課題となっています。国語では、目標値に達成した児童が9名しかおらず、特に「言葉・情報・文化」に関する内容が習得できていない児童が多いことがわかりました。また、5年の算数では、長方形の対角線や直方体の平行な辺など図形に関する理解に課題があります。意識調査では「将来に夢を持つこと」「読書」に関する意識が高いことがわかってひと安心しましたが、一方で「家庭学習習慣」が区平均を大きく下回っていました。

学校では、児童の学習意欲を喚起し、自らが問題を見つけ主体的に解決していく授業スタイルの確立を目指して校内研究の充実を図っていきます。また、低学年からAIドリルを活用し、基礎・基本の定着を個別に図れるよう、授業→放課後補充指導→家庭学習とAIドリルを連動させていきます。そのうえで、自ら課題を見つけたり、自分が興味ある内容について、クロームブックや図書を利用して探究したりする家庭学習も充実させていきます。

足立入谷まつり 9/14 2~4校時

短い準備時間で知恵をしぼって楽しい遊びを用意し、学年をこえて全員で楽しみました。



文化庁「子供のための文化芸術鑑賞事業」映画「ぬくもりの内側」鑑賞会 9/10(土)

4~6年生に来年5月公開の映画を特別に先行上映！なんと監督や役者さんも駆けつけてくださいました。

病気や死に本人や周囲の人々はどうのように向き合っていくべきなのか？とても考えさせられる感動的作品でした。「ぬくもり」を互いに感じられることの素晴らしさや難しさなどが児童の心に迫ってきたと思います。

※校長室前に監督・役者さんのサイン掲示中です。

